

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



▲大賞となる知事賞を受賞した吉田千帆さん。「誰かのために」と題し、忙しく働く父親へ宛てた作文を書きました。

## 親子で互いの良い所を作文に

### 「親と子の自慢作文コンクール」で市内中学生8人が入賞

12月20日、NPO法人茨城教育ネットワーク主催の「親と子の自慢作文コンクール」の表彰式が、水戸英宏中学校講堂（水戸市）で開かれました。市内入賞者は次の通りです。【知事賞】吉田千帆さん（国府中3年）【理事長賞】太田勇成さん（石岡中3年）【茨城新聞社賞】川崎琴美さん（府中中2年）、山本成美さん（国府中3年）【優秀賞】松川真奈さん（八郷中2年）【佳作】田村麻怜さん（府中中1年）、石橋栞さん（石岡中1年）、熊抱夏蓮さん（府中中1年）

## 安定した行政サービスを目指して 日本郵便株式会社と「包括事務委託に関する覚書」を締結

1月29日、日本郵便株式会社と市が、包括事務委託に関する覚書を締結しました。

今回の締結によって、3月末で廃止となった恋瀬出張所で行っていた住民票などの証明書交付やその他事務手続きが、4月5日から瓦会郵便局で受けられるようになります。谷島市長は、郵便局へ協力への感謝を述べるとともに「地域に根差した郵便局が地域と行政との渡し役となり、行政サービスを提供できる取り組み」と期待を込めました。



▲覚書を手にする黒田統括局長（写真右）と谷島市長。日本郵便のマスコットキャラクターぼすくまとぼすみるくも登場しました。



▲今回講師を務めてくれたのはスリランカとベトナム出身のお2人。美しい民族衣装に児童たちも興味津々の様子でした。

## 外国の文化や歴史を学ぼう

### 府中小学校で 国際理解教室を開催

2月5日、府中小学校6年生を対象として、市内国際交流団体「グローバルハーツ」から在日外国人2人を招き、国際理解教室が行われました。

国際理解教室は、在日外国人や留学生が講師となって、小中学生に、母国の文化を紹介することで異文化への知識や理解を深めようとするものです。

6年生の皆さんは、外国の食生活や衣服、歴史、学校の環境などについて、メモを取りながら熱心に聞いていました。



▲(写真左から)明治安田生命保険相互会社市場統括部長 八木悟様、つくば支社長 伊吹浩光様、石岡営業所長 加藤哲也様が贈呈式に出席。

## 「地元の元気応援寄付」事業

### 明治安田生命保険相互会社から寄付金が贈呈

2月12日、明治安田生命保険相互会社が全国で展開する「地元の元気応援寄付」事業の一環として、市に15万円の寄付金が贈呈されました。

同社では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている地域社会の応援として、全国約700の自治体に総額約2億円を寄付されています。

谷島市長からは「大変ありがたい。衛生用品の購入など、新型コロナウイルス感染症予防対策のために有効に活用させていただきます」と話しました。

## 府中中学校の生徒2人が人助け 登校中に帰宅困難者を保護 石岡警察署から感謝状が贈呈

2月2日、府中中学校3年生の井上瑛彦<sup>あきひこ</sup>さん、渡辺匠翔<sup>たくと</sup>さんは、登校中に市内の路上で困っている男性から助けを求められ、石岡警察署へ案内するなどしました。

雨が降り肌寒い気候の中、帰宅困難となり所在不明となっていた男性に対して、親切かつ適切な対応をし、行方不明者の発見に貢献したとして、2月16日、石岡警察署から2人に感謝状が贈呈されました。



▲感謝状を受け取った井上瑛彦さん(写真左)、渡辺匠翔さん(写真右)



▲3月3日、高浜郵便局にて、感謝状が贈呈されました。(写真左から)長洲主任、志岐局長、綿引署長

## 局員が不審に思い、即行動！

### 高浜郵便局で詐欺被害を防止 石岡警察署から感謝状

窓口を担当していた長洲<sup>ながす</sup>主任が、携帯電話で話しながら、ATMの操作をしていたお客さんが気になり、様子を見ていたそうです。送金という言葉が聞こえてきた時点で、怪しいと感じ、すぐに志岐局長に報告を行いました。局長は「高浜局は窓口とATMコーナーが近いことも、よかったのかもしれない」と振り返ります。綿引署長は、感謝とともに、最近増加しているという還付金詐欺に触れ「引き続き積極的なお声がけをお願いします」と話しました。